期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	5,734,123,875	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：5,705,013,207（業務費：4,652,407,301、一般管理費：1,049,796,811、その他：2,809,095） イ）リース債務の減少に係る計上額：29,082,188 ウ）預託金（自動車リサイクル料）に係る計上額：28,480 エ）固定資産等の取得額：1,156,018,199（家畜仮勘定：1,023,925,606、建物：19,878,590、構築物：29,077,408、機械及び装置：44,022,300、車輌運搬具：4,453,485、工具器具備品：7,281,802、建設仮勘定：6,750,420、ソフトウェア：997,500、棚卸資産（種子）：19,631,088）
	資産見返運営費交付金	1,156,018,199	
	資本剰余金	—	
	計	6,890,142,074	
合計		6,890,142,074	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	18,413,397	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②運営費交付金債務残高の明細（人件費残：18,413,397） ③翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高は、翌事業年度において収益化する予定であります。
	計	18,413,397	
24年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	148,020,926	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②運営費交付金債務残高の明細（人件費残：76,170,204、契約済翌年度繰越額：34,085,205、未契約繰越額：30,166,500、前払費用：5,355,052、長期前払費用：1,281,795、仮払金、10,430、棚卸資産（貯蔵品）：951,740） ③翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高は、翌事業年度において収益化する予定であります。
	計	148,020,926	

⑦　運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

⑴　施設費の明細

（単位：円）

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	その他	
施設整備費補助金	248,499,120	107,247,320	141,251,800	—	
計	248,499,120	107,247,320	141,251,800	—	